

令和元年度食の安心・安全アンケート調査結果について

1 調査の概要

(1) 目的

府民の食の安心・安全に係る意識を把握し、京都府における食の安全や信頼性の確保の推進に資する。

(2) 調査対象

京都府広報モニター及び一般府民

(3) 調査方法

インターネット及びイベント等会場における書面調査

(4) 実施期間

令和元年11月30日～令和2年3月31日

(5) 有効回答数

684

うち インターネット（広報モニター）	470
書面	214

(6) 調査項目

- ア 食品の安全に対する意識
- イ 食品の安全について関心のあること
- ウ 食品の安全に関する情報の情報源
- エ 食品の安全に関して気をつけていること
- オ 食品の安全について行政に行ってほしいこと

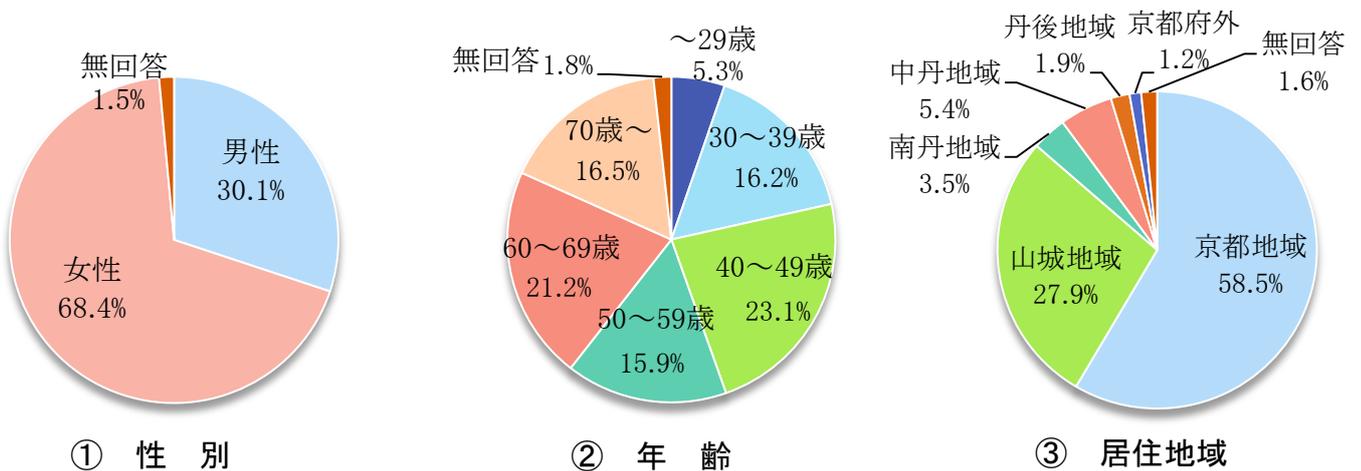
【京都府広報モニター】

趣 旨 府民参加による開かれた府政の推進を目的として、府が行う広報活動についてアンケート調査を実施し、府政運営の参考とする。

活動内容 府が行う広報活動に対する、インターネットを利用したアンケート調査への回答など。
(年12回程度)

2 回答者の属性

区 分		回答数	%
全 体		684	100.0
性 別	男性	206	30.1
	女性	468	68.4
	無回答	10	1.5
年 齢	20代以下	36	5.3
	30代	111	16.2
	40代	158	23.1
	50代	109	15.9
	60代	145	21.2
	70代以上	113	16.5
	無回答	12	1.8
居住地域*	京都地域	400	58.5
	山城地域	191	27.9
	南丹地域	24	3.5
	中丹地域	37	5.4
	丹後地域	13	1.9
	京都府外	8	1.2
	無回答	11	1.6



【居住地域の区分】

京都地域：京都市、向日市、長岡京市、大山崎町

山城地域：宇治市、城陽市、八幡市、京田辺市、木津川市、久御山町、井手町、宇治田原町、笠置町、和束町、精華町、南山城村

南丹地域：亀岡市、南丹市、京丹波町

中丹地域：福知山市、舞鶴市、綾部市

丹後地域：宮津市、京丹後市、伊根町、与謝野町

3 調査結果

問1 京都府の食の安心・安全について、どのように感じていますか。次の中から1つ選んでください。「どちらかといえば不安」「不安」を選んだ方はその理由もお書きください。

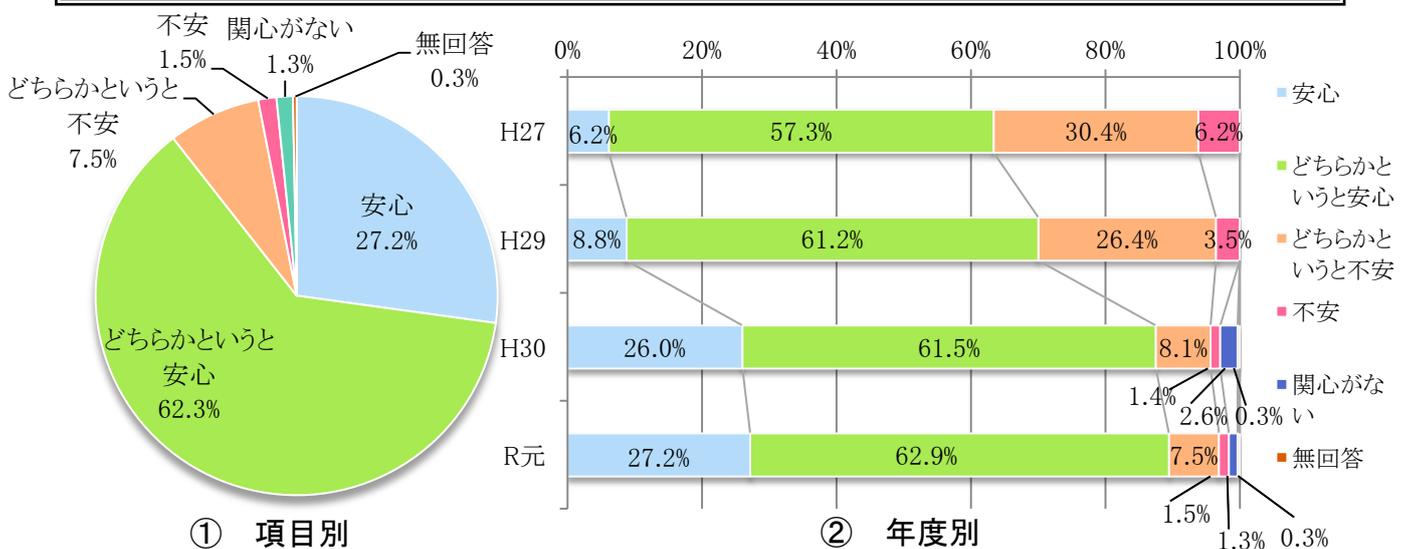
	回答数	割合 (%)
安心	186	27.2
どちらかといえば安心	426	62.3
どちらかといえば不安	51	7.5
不安	10	1.5
関心がない	9	1.3
無回答	2	0.3
合計	684	100.0

【「どちらかといえば不安」「不安」と回答した主な理由】

- ・農薬の使用や放射線
- ・府の取組が分からないので、アピールしてほしい
- ・輸入食品が多くなっていること
- ・新型コロナウイルス感染症で、そのうちに野菜や果物たちもなくなっていくのではと不安
- ・住んでいる地域は、物価は安いですが、質の良い生鮮品を買おうと思うと選択肢が少ない
- ・安全性がきちんと検査されているかわからない
- ・生産過程、流通ルートが複雑になり、消費者はその過程を把握することが難しい

結果概要

- ・「安心」「どちらかというと安心」と感じる方が、90%を超えています。
- ・「安心」「どちらかというと安心」と感じる方は、一貫して増加傾向です。



※H28年度は設問なし。H30年度から「関心がない」選択肢を追加。

問2 食品の安全について、あなたが特に関心をもっていることは何ですか。次の中から3つまで選んでください。

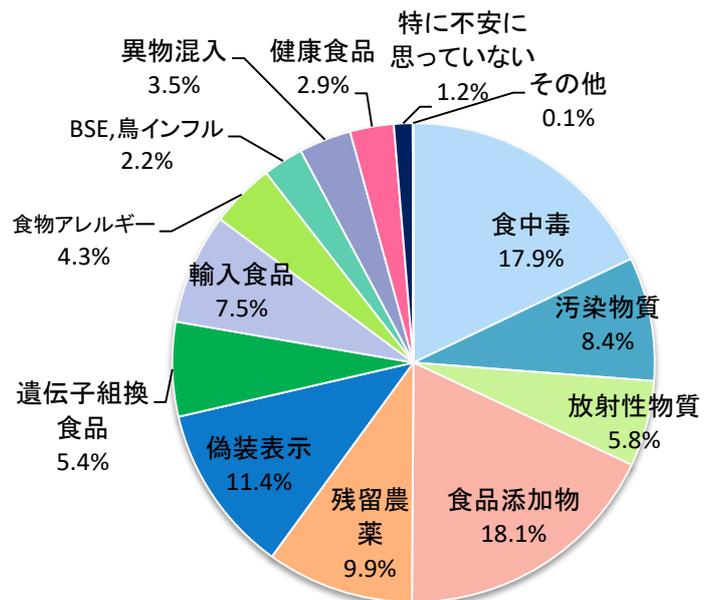
	回答数	割合 (回答数%)	割合 (回答者%)
食中毒 (O157、ノロウイルスなど)	342	17.9	50.0
汚染物質 (メチル水銀、カドミウムなど)	160	8.4	23.4
食品中の放射性物質 (放射性セシウムなど)	111	5.8	16.2
食品添加物	346	18.1	50.6
残留農薬	189	9.9	27.6
偽装表示 (産地、原材料、賞味期限など)	218	11.4	31.9
遺伝子組換え食品	122	6.4	17.8
輸入食品	143	7.5	20.9
食物アレルギー	83	4.3	12.1
BSE (牛海綿状脳症)、鳥インフルエンザ	52	2.7	7.6
食品への異物混入	67	3.5	9.8
健康食品	56	2.9	8.2
特に不安に思っていない	24	1.3	3.5
その他	1	0.1	0.1
合計	1914	100.0	

【その他の意見】

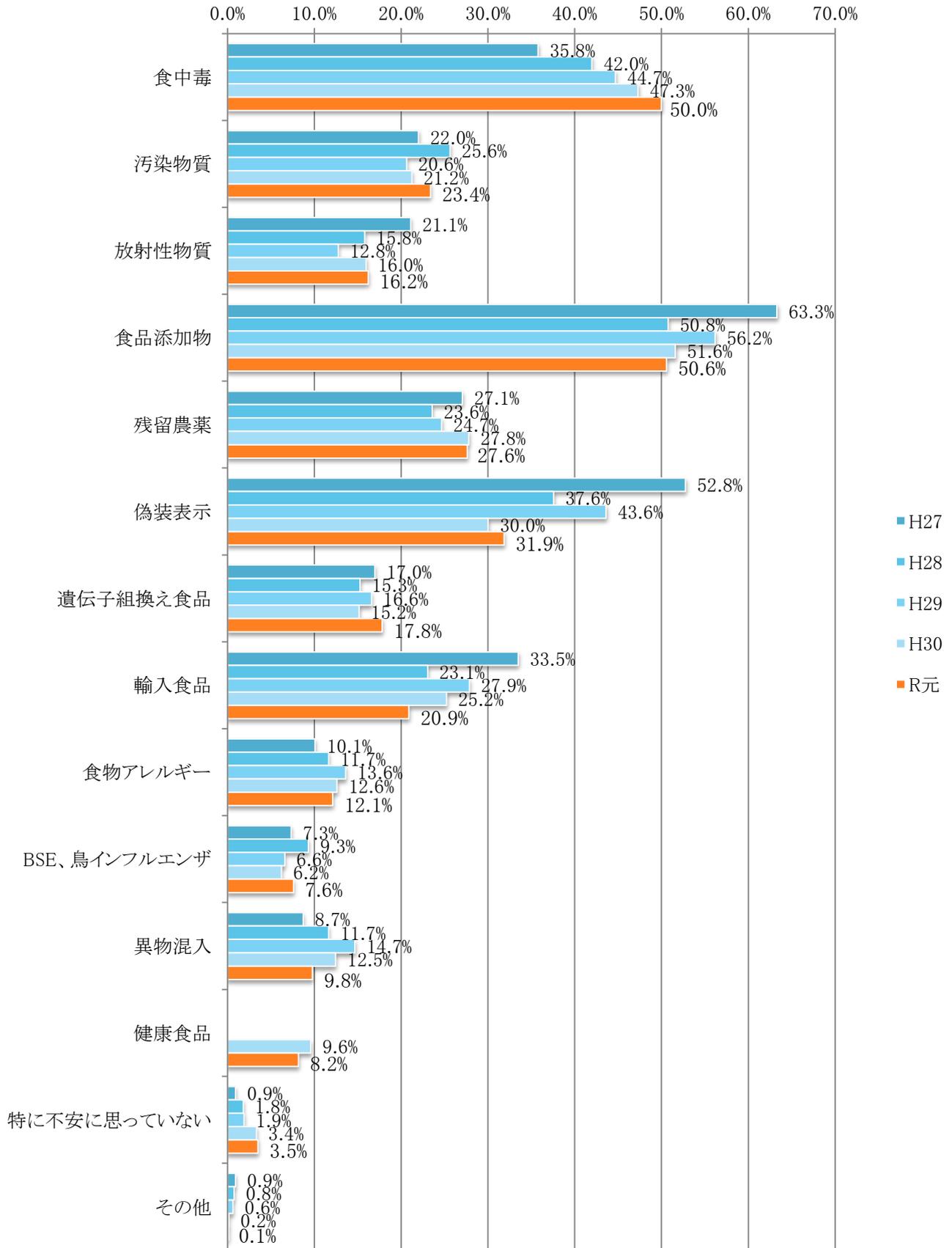
- ・CSF (豚熱) 感染対策

結果概要

- ・昨年度と同様に「食品添加物」「食中毒」に関心を持っている方が多い傾向です。
- ・全体的な傾向は昨年度から大きな変化はありません。



① 項目別



② 年度別

※H30年度から「健康食品」選択肢を追加。

問3 あなたは、食品の安全に関する情報について、どこから得ることが多いですか。
次の中からいくつでも選んでください。

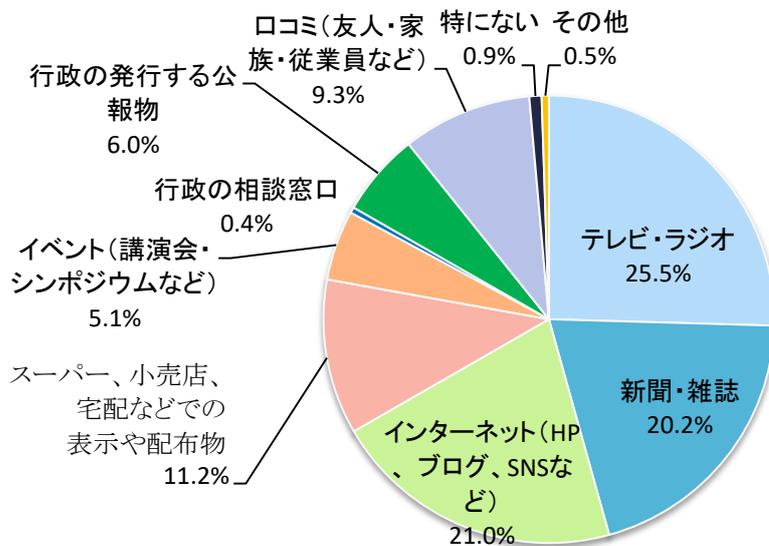
	回答数	割合 (回答数%)	割合 (回答者%)
テレビ・ラジオ	493	25.5	72.1
新聞・雑誌	392	20.2	57.3
インターネット (HP、ブログ、SNS など)	406	21.0	59.4
スーパー、小売店、宅配などでの表示や配布物	217	11.2	31.7
イベント (講演会・シンポジウムなど)	98	5.1	14.3
行政の相談窓口	8	0.4	1.2
行政の発行する広報物	116	6.0	17.0
口コミ (友人・家族・従業員など)	180	9.3	26.3
特にない	17	0.9	2.5
その他	10	0.5	1.5
合計	1937	100.0	

【その他の主な意見】

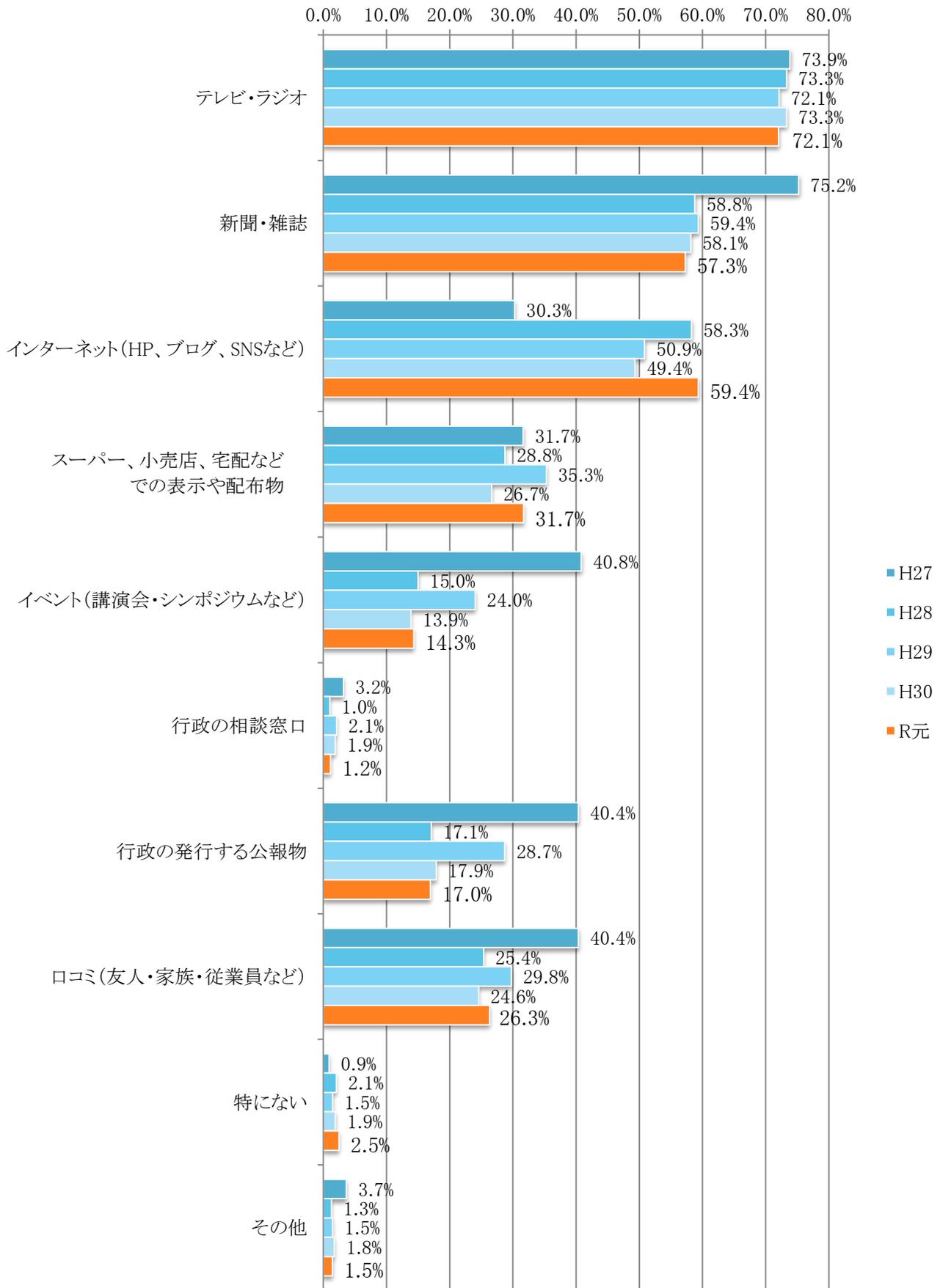
- ・書籍など
- ・参加団体の会報

結果概要

- ・「テレビ・ラジオ」「新聞・雑誌」など旧来からのマスメディアから情報を得ている方が、依然として多い傾向です。
- ・インターネットから情報を得ている方の割合が、初めて第2位となりました。



① 項目別



② 年度別

問4 あなたは、食品を購入する時に、食品の安全についてどのような点を考慮していますか。次の中から**3つまで**選んでください。

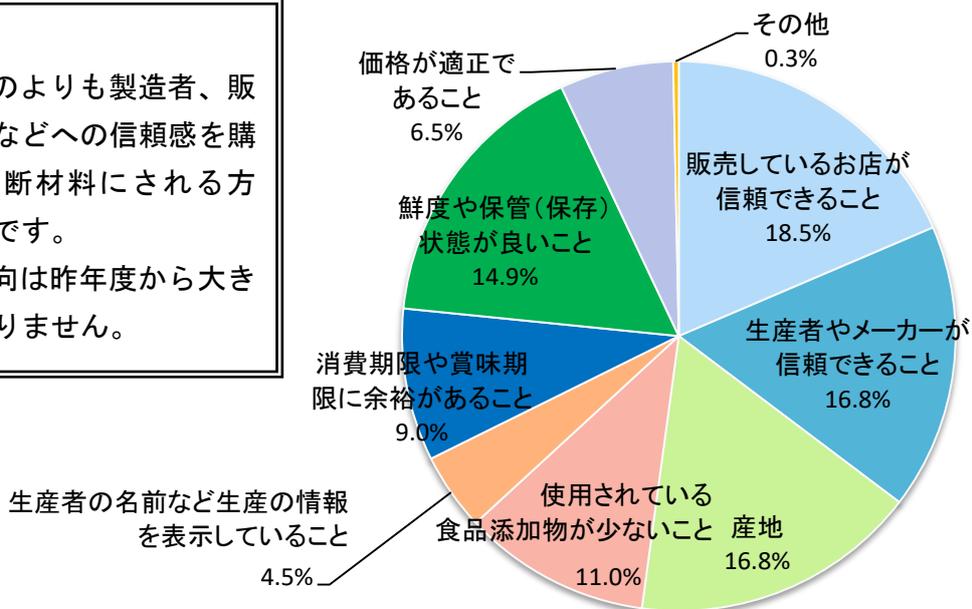
	回答数	割合 (回答数%)	割合 (回答者%)
販売しているお店が信頼できること	343	18.5	50.1
生産者やメーカーが信頼できること	311	16.8	45.5
産地	311	16.8	45.5
使用されている食品添加物が少ないこと	203	11.0	29.7
生産者の名前など生産の情報を表示していること	84	4.5	12.3
消費期限や賞味期限に余裕があること	166	9.0	24.3
鮮度や保管（保存）状態が良いこと	304	16.4	44.4
価格が適正であること	123	6.6	18.0
その他	6	0.3	0.9
合計	1851	100.0	

【その他の主な意見】

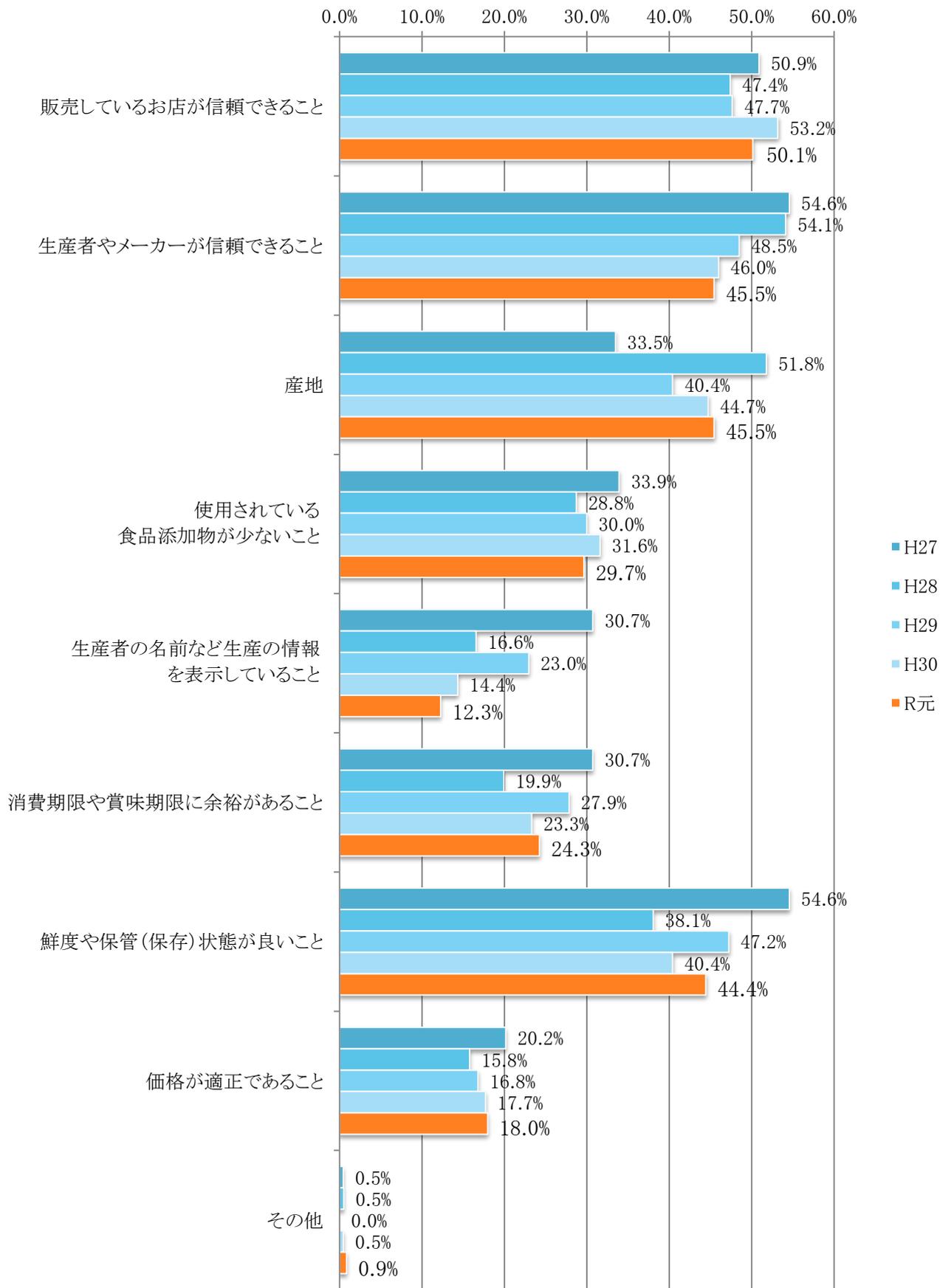
- ・科学的根拠のない不確かな情報に惑わされないこと
- ・自分の目、知識を信じる

結果概要

- ・食品そのものよりも製造者、販売者、産地などへの信頼感を購入の際の判断材料にされる方が多い傾向です。
- ・全体的な傾向は昨年度から大きな変化はありません。



① 項目別



② 年度別

問5 食品の安全を高めるために、京都府がさらに強化すべき取組は何だと思いますか。次の中から3つまで選んでください。

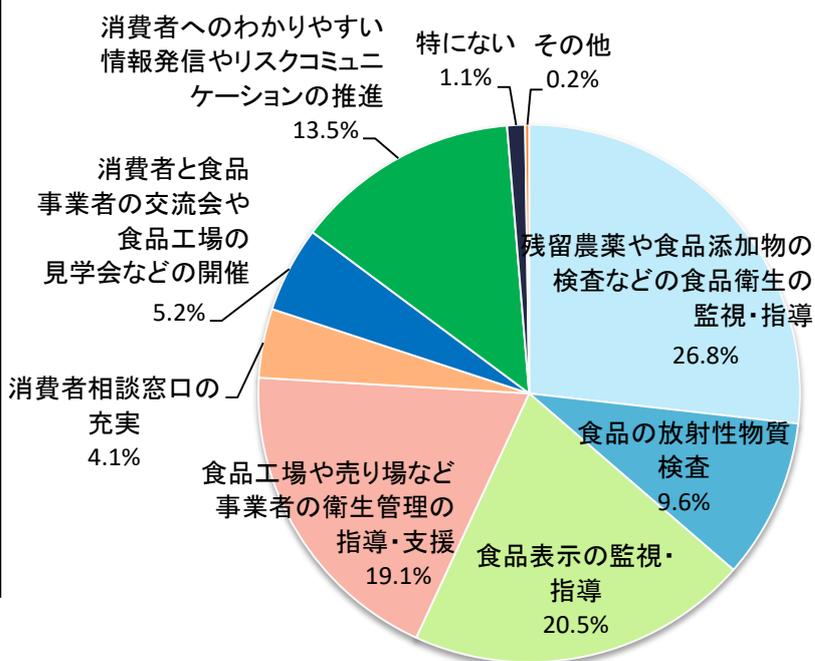
	回答数	割合 (回答数%)	割合 (回答者%)
残留農薬や食品添加物の検査などの食品衛生の監視・指導	452	26.8	66.1
食品の放射性物質検査	162	9.6	23.7
食品表示の監視・指導	345	20.5	50.4
食品工場や売り場など事業者の衛生管理の指導・支援	322	19.1	47.1
消費者相談窓口の充実	70	4.1	10.2
消費者と食品事業者の交流会や食品工場の見学会などの開催	87	5.2	12.7
消費者への分かりやすい情報発信やリスクコミュニケーションの推進	227	13.5	33.2
特にない	18	1.1	2.6
その他	4	0.2	0.6
合計	1687	100.0	

【その他の主な意見】

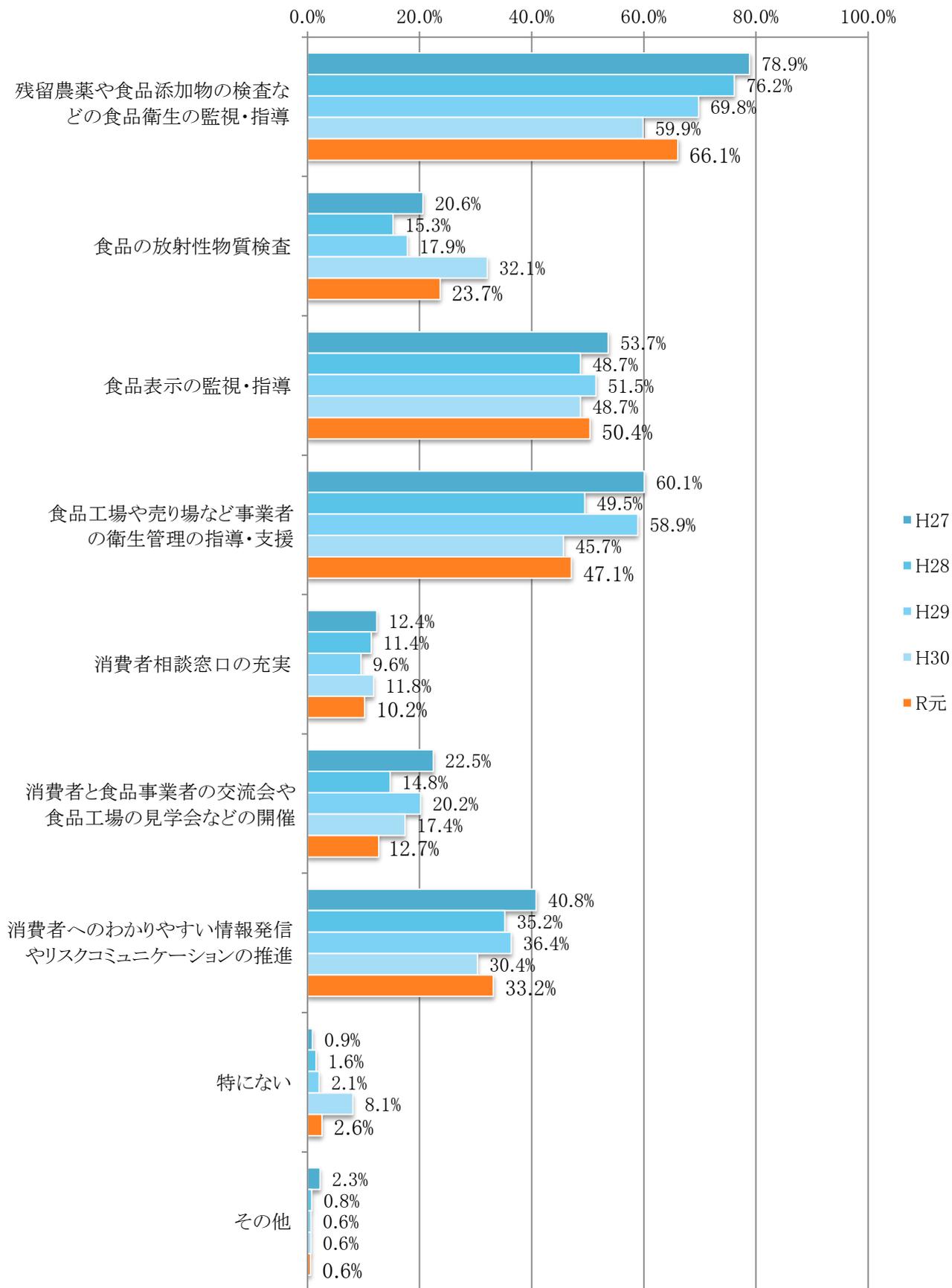
- ・生産者や流通の支援
- ・科学的根拠のない不確かな情報を放置しないで、正確な情報の発信
- ・一般府民に府の取組状況が見えない

結果概要

- ・事業者に対する監視・指導や支援の取組を強化してほしいと考える方が多い傾向です。
- ・「相談窓口」や「交流会・見学会」など能動的な情報獲得の機会よりも、「分かりやすい情報発信」など受動的に情報を獲得できる機会を求める方が多い傾向です。
- ・全体的な傾向は昨年度から大きな変化はありません。



① 項目別



② 年度別